



6月5日、サウジアラビア、バーレーン、アラブ首長国連邦(UAE)、エジプトの4か国はカタールと国交を断絶すると発表しました。安全保障上の理由から、陸・空・海路の交通を遮断するとしています。今回のマリントピックスでは、この断絶が物流に与える影響について現地情報を交えてお伝えいたします。

1. カタールとの国交断絶の経緯

サウジアラビアなどが、対立するイランとの関係などを理由にカタールと国交を断絶したことを受けて、カタールの外交団や国民は各国からの退去を求められているほか、航空機の運航も中止されるなど、人の往来や物流が滞り、経済への影響が広がるものと見られます。

6月7日現在、カタールとの国交断絶を発表したのは、サウジアラビア、エジプト、バーレーン、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、イエメン、モルディブ、リビア東部政府の7か国に拡大しました。断交の理由として各国は、カタールがサウジアラビアと対立するイランが支援する組織と関わっていることや、エジプト政府と対立するイスラム組織「ムスリム同胞団」と関係していることを挙げ、「テロ組織や過激主義者を支援している」などと主張しています。各国の政府は、それぞれの国に駐在するカタールの外交団に対して、48時間以内に退去するよう求めるほか、全てのカタール人に対して14日以内に国外に出るよう呼びかけています。



カタールは南をサウジアラビアと国境を接し、ペルシャ湾を挟み北西はバーレーンに、北はイランに、東はアラブ首長国連邦(UAE)に向かい合う。

(地図: Google Map)

2. 各物流に与える影響について

・陸路

カタールの食糧事情は40%を唯一の陸路続きの隣国であるサウジアラビアからの輸入に頼っており、食料の輸入が困難になることからカタールのスーパーでは食料品の買いだめが始まっています。また、今後食料品の高騰が予想されます。

カタールで進行中の新港やドーハのメトロ建設、2022年サッカーワールドカップスタジアム建設に絡む建築部材も一部がサウジアラビアから輸入されているため、建材の不足も心配されるところです。カタールに18万人住んでいるとされているエジプト人もカタールからの退去を余儀なくされ、その多くが建設工事に携わっていることから労働能力という面でも各種建設工事に影響が出そうです。こうした中、カタール株式市場も7%以上の下落を見せ、早速経済に影響が出ています。



・海路

サウジアラビアとバーレーン政府は、カタール船籍の船の領海内航行を禁止しましたが、“innocent passage”保護の国際条約に抵触するとの見解もあります。エジプトでは国防省の許可を取得している場合を除き、エジプトの港への入港を禁止しましたが、スエズ運河は通行可能とのことです。アラブ首長国連邦では、フジャイラ港ではカタール船籍の入港を禁じる通知が出され、情報筋によると、ジュベル・アリや他の港も同様の扱いとなる可能性が高いとのことです。



カタールをはじめ中東はエネルギー分野で日本と関係が深い。カタールに停泊するガスタンカー（写真:picture alliance/アフロ）

タンカー側にとっては超大型船の原油運送業者が複数の中東港で定期的に原油の多量積みを行っているため、カタールに寄港

した船舶が他の港に立ち入りを禁じられると、イランに対する経済制裁を受けた時と同じ状況が起こると懸念されています。また船主はカタールの首都ドーハが他の諸国から断絶されると、そこに拠点を置く乗組員やその他の人員の採用が困難になることを問題視しています。

・空路

中東第2の規模のカタール航空は5日の報道を受け、国交断絶を発表した国々と往来できなくなったことは航路見直しを含む経由便での影響に留まらず、カタールへの直行の往来においても航路を制限されるという意味で燃料費のコスト増に伴う航空便コストの増加をもたらすと予測しています。カタール航空の乗入停止は、サウジアラビアにおいてもラマダン後のイード休暇を控えるため、同期間を海外で過ごす予定だった一般旅客の足に大きな影響も出ています。

3. 今後の見通しについて

6月5日の発表以降、物流自体は滞っているものの、現在のところ直ちに暴動やテロ、軍事衝突に至る状況にはありません。カタールと断交していないクウェートなどが既に仲介に乗り出しており、米国なども仲立ちのスタンスを示していますが、カタールがイランやテロ組織との関係を断ち切る動きを少しでも示さない限り、断交は継続するものと予想されます。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。